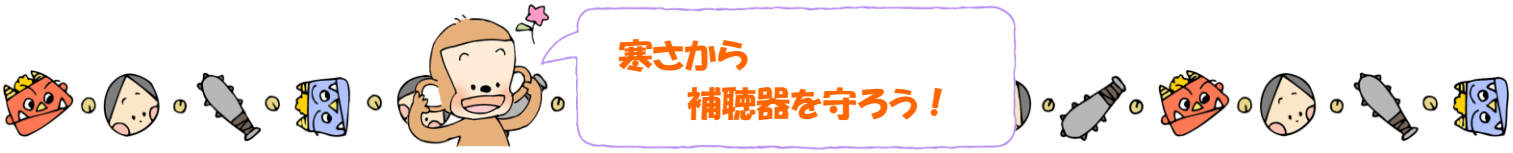
みみだより No.３２

鳥取聾学校ひまわり分校　　聴能担当　　R4.2.15

文責：高住

２月に入り暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなります。体調管理に気をつけながら、修了式に向けてまとめの学習に取り組んでいきましょう。終息するかなと期待していた新型コロナウイルス感染症は、感染力を増し拡大しています。今まで継続してきた感染防止対策ではありますが、今後も一層気を引き締めて元気に乗り切りましょうね。

今回は、湿度や寒さが補聴器に与える影響について取り上げたいと思います。



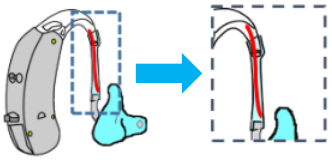
寒さから　補聴器を守ろう！

極端な温度変化は、補聴器と電池の性能に悪影響を与える可能性があります。寒さそのものが必ずしも悪影響を与えるわけではありませんが、問題は、温度変化によって生じる結露です。温度変化によって発生するこの結露が補聴器に入り込み、補聴器のマイクやスピーカーにダメージを与えることがあります。結露が補聴器の電池室まで入り込むと電池の劣化につながります。メガネのレンズの曇りや窓の結露は一目で分かりますが、補聴器の結露には気づきにくいものです。

湿気や結露は補聴器のマイクやスピーカーに影響を与えかねないだけでなく、耳かけ型補聴器では、イヤモールドと本体をつなぐチューブを詰まらせ、腐食の問題を引き起こす可能性もあります。

【結露を防ぐために】

電池は、乾燥機に一緒に入れない!!
（電池の寿命が短くなるため）



〇補聴器を湿気の多い場所に置かない。

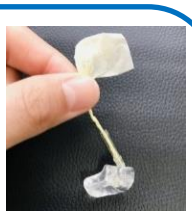
〇補聴器をはずしたら、よく拭き、乾燥剤入りのケースに入れる。
（電気式の補聴器専用の乾燥機の使用も有効な手段！）

〇防滴チューブに替える。
（チューブ内部に木綿糸を入れれば同じ効果が期待できる！
※ただし、糸の太さにより隙間ができてハウリングの原因になることもあるので注意が必要！）

〇冷え切った補聴器（電源 OFF）を暖かい室内に持ち込んだ場合は、内側に結露している場合があるので、すぐにスイッチを入れずに室温に馴染んでから使用する。

〇補聴器用の汗取りカバーなどで保護することも有効的！

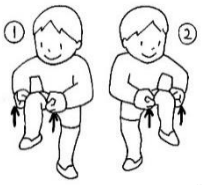
【結露してしまったら…】



〇チューブやジョイント部分の水滴は、
フックからチューブを取り外し軽く振る。
または、ティッシュペーパーで作った
こよりなどで吸い取る。

〇イヤモールド内の水滴は、
エアブロワーで吹き飛ばす。

ワンポイント手話



「長靴・ブーツ」

「てぶくろ」

「おやこ手話じてん」より

寒さから補聴器を守って、最適なきこえを保っていきましょう！